

北海道スペースポートを核とした“宇宙のまちづくり”の推進

北海道大樹町／

SPACE COTAN株式会社

事例の概要

北海道大樹町は、地理的優位性を活かし北海道航空宇宙産業基地構想の候補地選定以来40年間にわたり「宇宙のまちづくり」に取り組んできた。当初は国の実験場誘致が軸だったが、宇宙基本法の成立を契機に宇宙産業への民間参入が進む中、町自ら民間に開かれたロケット射場整備に着手した。これにより、宇宙を核とした持続的なまちづくりを推進し、北海道スペースポート(HOSPO)を中心とした「宇宙版シリコンバレー」の形成と世界に開かれた宇宙拠点の確立に挑戦している。



受賞のポイント(選考委員講評)

長年にわたり地域・企業等が一体となって「宇宙のまちづくり」に取り組んでおり、ロケット射場の整備・打上げ、海外需要の取り込み、商業宇宙港の国際標準化に向けた取組、人材育成を進めるなど、多様な活動を積極的に実施しており、宇宙開発利用の促進、経済・社会発展、技術開発の貢献は高く評価できる。今後、我が国を代表する民間のロケット射場・宇宙港としての発展も期待できる。

具体的成果等

1. 宇宙開発利用の新たな領域創造への貢献

大樹町は、長年の「宇宙のまちづくり」の経験と他地域に類を見ない地理的優位性(東と南に開けた海、広大な平野、安定した気象条件等)を最大に活かし、民間に開かれたロケット射場の整備を進め、現在整備中のLC1射場は2026年度の完成を予定している。また、SPACE COTANIは2025年1月に宇宙戦略基金第1期に採択され、複数種のロケットを高頻度で打上げ可能とする次世代射場実現に向けた基盤技術開発が開始された。これにより、従来にない柔軟かつ効率的な射場運用の実現が期待される。これらの取組は、ロケット開発企業の事業展開を後押しするとともに、関連産業の集積やサプライチェーンの構築を促進し、我が国の宇宙産業全体の成長を牽引する先駆的挑戦である。

2. 宇宙開発利用市場の拡大への貢献

HOSPOは、「広く開かれた射場」をコンセプトとしており、国内企業のみならず、海外企業によるロケット打上げや実験誘致を積極的に実施している。HOSPOの滑走路では、無人航空機をはじめとする多様な実験が年間を通じて行われており、2019年と比べ2024年には利用者数・推定経済効果が約3.4倍に達するなど、年々需要が増大している。2025年7月には、台湾資本のjtSPACE社がHOSPOからサブオービタルロケットを打上げ、海外資本による国内初のロケット打上げを達成した。また、複数の国内外事業者との打上げ検討も開始しており、HOSPOは今後も我が国における宇宙開発利用市場の拡大に資する場としての役割を果たしていく。さらに、隣接するJAXA大樹航空宇宙実験場においては、大気球実験をはじめ多様な研究開発が実施されており、大樹町は我が国の航空宇宙分野における研究開発基盤を下支えする重要な地域となっている。

3. 経済・社会の高度化への貢献

HOSPOは、航空宇宙関連の研究開発フィールドとして多種多様な実験に活用され、将来の産業・社会・生活・行政の高度化に寄与する新技術の研究開発の場として、企業や大学などの多様な主体に利用されている。加えて、大樹町とSPACE COTANIは、2021年以来毎年「北海道宇宙サミット」関連団体と共に

開催しており、国内外の宇宙関係者や関連企業、研究機関が集うプラットフォームとして、地域経済の活性化や産業振興、ネットワーク形成に寄与している。HOSPOは単なる研究開発拠点にとどまらず、地域社会の発展と宇宙産業エコシステムの形成においても重要な役割を果たしている。

4. 技術への貢献

大樹町は、研究開発の基盤となる施設を整備し、企業や大学などの各研究開発機関に提供することで、我が国における研究開発活動の推進を側面的に支援している。さらに、SPACE COTANIは宇宙戦略基金事業による研究開発に取り組むとともに、大樹町と連携し、2024年10月にはHOSPOを含めた5大陸8つの商業宇宙港で、商業宇宙港に係る国際協力に関する覚書を締結し、商業宇宙港の国際標準化に向けた検討を開始した。これにより、開発した技術が国内ひいては国際的規格・標準策定の基礎となることが大きく期待される。HOSPOでの取組は、民間企業等による宇宙開発に必要な共通基盤を提供するとともに、我が国の宇宙分野における技術競争力の向上および国際的な規格策定・標準化への貢献にも資するものである。

5. 国民理解の増進・人材育成への貢献

大樹町は、研究者による特別授業を各学校で毎年実施し、子どもたちが自発的に宇宙に関わる環境も整備している。加えて、JAXAとの連携協力協定の下でJAXAによる教育活動を展開し、2016年からは全国の高校生が宇宙を本格的に学ぶ「エアロスペーススクール」を開催している。さらに、大樹町とSPACE COTANIは、2023年からHOSPOを舞台とした探究学習プログラムを開始し、これまで約700名の高校生が参加するなど、課題解決型の学びを通じた次世代人材の育成を推進している。加えて、HOSPOの滑走路は、学生に無償で貸し、限られた予算の中で大学生等が研究開発に挑戦できる環境を提供している。大樹町はこのような取組を長年継続しており、宇宙を活用した教育活動のみならず、次世代を担う人材育成に着実な成果を上げている。

